

七尾ロータリークラブ会報

NANAO Rotary Club Weekly Report

題字 清水 聖鵬 (旧展作家)

創立：1955年8月17日
認証：1955年10月7日

第3382回 例会プログラム

- ・日 時：2026年9月11日 ・18：00～
- ・場 所：番 伊
- ・内 容：月見例会

第3381回 例 会 報 告

- ◇日 時：2026年9月4日 ・12：30～
- ◇場 所：番 伊
- ◇内 容：希望の翼奨学生報告会
- 司 会 SAA南 佳 憲
伊藤会長
- ◇開会点鐘
- ◇国歌斉唱
- ◇四つのテスト 高 田 勝社会奉仕委員
- ◇米山奨学生・希望の翼奨学生紹介 伊藤会長
- ◇会長挨拶



本日もお忙しい中、例会にご出席いただき、ありがとうございます。

9月はロータリーの「ロータリーの友月間」です。

皆さんは、毎月届く『ロータリーの友』を、どのように読まれているでしょうか。私自身も、忙しいとつい後回しにしてしまうことがあります。しかし、改めて考えると、『ロータリーの友』には、世界・全国のロータリアンがどんな活動をしているのか、どんな思いで奉仕活動に取り組んでいるのか、たくさんのヒントが詰まっています。私たちのクラブだけで活動していると、どうしても考え方が固定されてしまいます。ところが、さまざまなクラブの活動を知ること、これは私たちのクラブでもできるのではないかという新しい発見があります。つまり、『ロータリーの友』は、単なる機関誌ではなく、ロータリアン同士をつなぐ「友」そのものなのではないでしょうか。そして、9月というこの時期は、年度が始まって2か月が過ぎたところ、最初は「今年はこれをやろう」と思っていた、少しずつ日々の活動に追われ、活動のマンネリ化を感じ、若干のズレが出てくる時期だと感じています。そんな時こそ、他クラブの活動や、全国のロータリアンの考え方に触れてみるのが大切だと思います。「ロータリーの友」を読むことで、新しい活動のきっかけが生まれるかもしれません。

また、2025年9月号には『友』を読まずに損をしませんか？いま、ロータリーをラーニングする方法が特集記事として掲載されています。例会でも11月と1月にラーニング例会を開催する予定です。是非とも、「ロータリーの友」を呼んでいただき、自クラブの良さ、自社・自組織の社会貢献を考え例会に参加していただきたいと思います。一人の「気づき」を、みんなで共有する。その小さな積み重ねが、クラブ活動をより活発にしていくのだ

と思います。

今月は「ロータリーの友」をきっかけに、読む、知る、話す、そして行動する。そんな一か月にしていきたいと思っています。また、「ロータリーの友」電子版購読のお知らせが8月5日のメールにて事務局よりお知らせしています、ご確認ください。

本日の例会は、前回と同様、2610地区の補助金事業である希望の翼奨学金制度報告会です。

本日もよろしくお願いいたします。

◇奨学金進呈 伊藤会長、ヴ・アン・ズン君

◇9月度会員誕生、配偶者誕生、ご結婚記念祝い

- ・会員誕生 9/30 前山 英規
- ・ご結婚記念 9/28 村田ご夫妻

◇出席報告

- ・会員53名中 28名出席
- ・メイク

8/29 熊本地震復興支援金募金活動

伊藤会長、戸田副会長、山崎美智夫、津田 晃、南 佳憲、白山 竜俊、久田 圭克、上村 明、中山 裕介

8/30 地区青少年交換来日オリエンテーション

南 佳憲

8/30 全国IA委員長会議 山崎 美智夫

9/3 ズン君珠洲RC卓話同行 清水 真一路

◇70周年実行委員会報告 石田実行委員会幹事

◇委員会報告

8/30 地区青少年交換来日オリエンテーション
金沢 (南委員)

8/30 全国IA委員長会議 (山崎地域社会奉仕委員長)

◇幹事報告 西幹事

1. 交野RCより支援金 174332円
2. 8/29 鵬学園祭熊本地震支援金募金活動 9名参加
募金金額25624円 熊本地震復興支援金募金
本日まで
3. 9/3 ズン君珠洲RC卓話 同行 清水カウンセラー
4. 9/5 RLI研究会パート1 地場産 (上村会員)
5. 9/6 七尾みなとRC創立70周年記念大会 お祭り
会館・美湾荘 (会長、幹事)
6. 9/11 次回夜間例会「月見例会」 番伊 18:30～

ロータリーの友電子版 ID・パスワード

ID：2610-00163

パスワード：00163-241

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会 長 伊 藤 隆 行
副会長 戸 田 充
幹 事 西 規 孝
例会日 金曜日 12:30～13:30
例会場 七尾産業福祉センター

「超私の奉仕」 「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」

ニコニコ箱報告

- 伊藤会長 水害で被災された会員の皆さま、お見舞い申し上げます。皆さんでサポートしていきましょう。
- 村田直前会長 希望の翼奨学生のみなさま、本日はよろしくお願い致します。
- 戸田副会長 希望の翼奨学生の皆さん、七尾RCへようこそ。ご心配おかけしました。少しずつ泥を出しています。希望の翼の皆様、よろしくお願いします。
- 西幹事 西岡さん、初めまして！
- 赤 喜久造 次回は月見例会です。楽しみです。
- 木下 義隆 希望の翼奨学生の皆様、よろしくお願い致します。
- 津田 晃 希望の翼奨学生報告、楽しみです。
- 清水真一路 水害にあわれた方にお見舞い申し上げます。
- 白山 竜俊 希望の翼奨学生の皆さん、本日よりよろしくお願い致します。
- 高田 誠一 水災にあわれた会員の皆様、お見舞い申し上げます。
- 津田 文雄

◇希望の翼奨学生報告会

岩崎 瑞生 金沢大学 融合学域学部観光デザイン学類2年
いつもご支援いただきありがとうございます。現在金沢大学観光デザイン学類の2年です。この1年間で成長したことは、協調性とチームワークの醸成です。多様なバックグラウンドを持つ学生とのグループワークを通じ、互いの強みを活かし合いながら目標を達成する協調性が身に付きました。例として学生団体の街歩きイベント企画運営などです。そして、もう一つは、責任感を持った行動実践です。自分の役割に責任を持ち、計画的に課題に取り組む主体性と実行力を培うことが出来ました。例として、金沢市協働をすすめる市民会議委員としての企業ゲストとの交流会運営などです。また、企業とのワークショップを通じて地域の魅力を発見したりしています。交流会を行った時にファシリテーターを決めたりしました。このように自分の役割を主体的に取り組み、主体性と実行力を培う事が出来ました。努力したこととその成果は、観光デザイン学類を専攻していますが、その専門知識を高めるため、日々の講義に誠実に取り組み、必要な単位を計画通り順調に取得しました。また、資格取得のため勉学に励んでいます。

私にとって地域の復興は、単に元の状態に戻るだけでなく、地域全体に人々の活気と笑顔を取り戻すことだと考えています。地域の発展とは新しい考え方や視点を取り入れながら、住む人にとってより豊かで住みやすい地域を創ることです。

地域の復興そして発展にどのような行動をしますかという問いについては、今の自分にできる最優先の行動として、大学での学びや学修に真剣に向き合い、地域課題の解決に必要な専門知識と実務的スキルを確実に身に付けたいと考えています。

支援への思いとしては、金沢大学では日々の学びを糧としてさらに成長し、将来は観光デザインの専門知識を活かして地域社会に貢献できる人材となり、温かいご支援に恩返しをしたいと考えています。

山田 真緒 江戸川大学メディアコミュニケーション学部
マスコミュニケーション学科2年
江戸川大学メディアコミュニケーション学部マス・コミュ

ニケーション学科2年の山田です。よろしくお願いします。
この1年間最も成長したことに関して、課題に対しての問題解決能力を持つ事が出来たことです。課題に対して、必要な作業を整理し、計画的に課題解決できるようになりました。また、部活動に所属しており、周りとの協調性が1年目よりかなり身に着いたと感じております。

努力したこととその成果に関して、課題に取り組み、単位を順調に取得することが出来ました。単位を取得するために課題に日々取り組みながら、自らがどのように考えているのかを発信できるよう常に考えておりました。また、演習、実習の授業で専門的な能力を身に着ける事が出来ました。

私が考える地域の復興とは、またこの場所に戻りたいと感じられる地域になることだと思います。発展とは、老若男女問わず、住みやすい地域で常にあり続ける事だと考えます。

私が地域の復興についてどのように活動するかについては地元から離れている地域であるからこそ地元の課題や魅力について日々考え、その地元に対してどのように貢献できるかを模索することが現在の私にできる事であると考えています。

日頃よりご支援いただき、心より感謝いたしております。これからも感謝の気持ちを忘れずに成長し続けたいと思っております。ありがとうございました。

吉野加乃 京都産業大学現代社会学部 現代社会学科2年

この1年間を振り返ると、以前よりも物事を様々な視点から考えられるようになったことが1番大きな成長であったと感じています。大学では様々な分野について学ぶ機会があり自分とは違う考え方や価値観に触れることも多くありました。そのため、一つの考え方で判断するのではなく、色々な立場から物事を見ることを意識するようになりました。またわからないことがあったときに、自分から調べたり、行動することが増え、積極的に学ぶ姿勢が身に付きました。

次に学業成果について、授業を通して社会問題への関心が深まり、身近な出来事にも目を向けるようになりました。現代社会学部では、社会で起きている様々な問題について学ぶ機会が多くあり、これまであまり意識していなかった問題についても知る事が出来、身近な出来事にも目を向けるようになりました。また、授業についていくために、予習や復習を欠かさず行うことで、単位も順調に取得することができました。今後も単位を取ることを目標にするのではなく、自分の興味や将来につながるものを大切にしていきたいと思えます。

地域活動について、私の考える地域の復興は、元に戻すだけでなく、地域の人々が安心して暮らせる環境を取り戻すことだと思います。また、発展とは地域の魅力を大切にしながら新しい考えを取り入れていくことだと思います。

将来は、地域に貢献できるように学業に専念し、様々な知識を得ていきたいと思えます。地域の魅力や、現状を発信したり、ボランティア活動に参加したりすることで、継続的に地域と関わっていききたいと思えます。

最後にこのような支援をしていただき、皆様のおかげで充実した学生生活を送る事が出来ています。支援に感謝し、学びを将来に活かせるように頑張ります。ありがとうございました。

例会の続きはこちらから！



次週9月18日は
休会です。

七尾ロータリークラブ事務局

〒926-0802 石川県七尾市三島町70番地1 七尾産業福祉センター4F

TEL 0767-53-5590 FAX 0767-53-5675

e-mail d2610@nanao-rc.jp http://www.nanao-rc.jp

広報・クラブ会報委員会

委員長：上村 明

副委員長：村田 成司

委員：緩目 孝和・中山 祐介